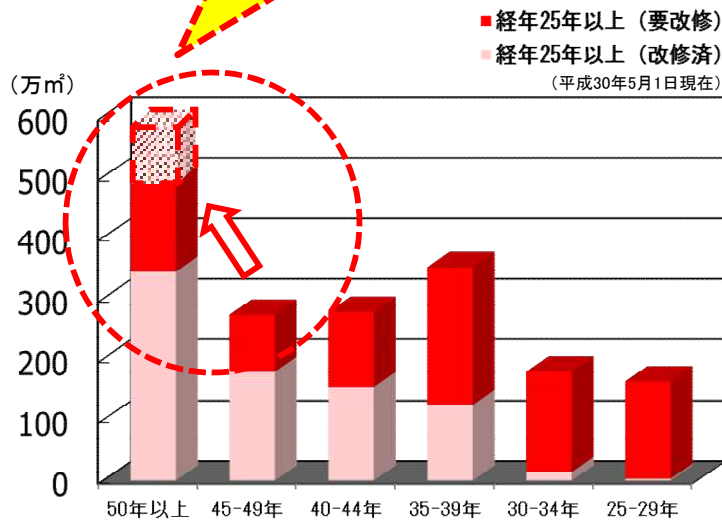


# 国立大学等施設の老朽化の現状と課題

- 国立大学法人等施設は、昭和40年代から50年代にかけて整備された**膨大な施設の更新時期が到来**しており、**安全面、機能面、経営面**で大きな課題が生じ、対応が急務。
- 経年25年以上の改修を要する施設は、全国で**約915万㎡**（全保有面積の**32%**）で、老朽改善整備に**著しい遅れが発生**。

## 施設の老朽化が進行

今後5年で築50年以上の要改修建物が倍増



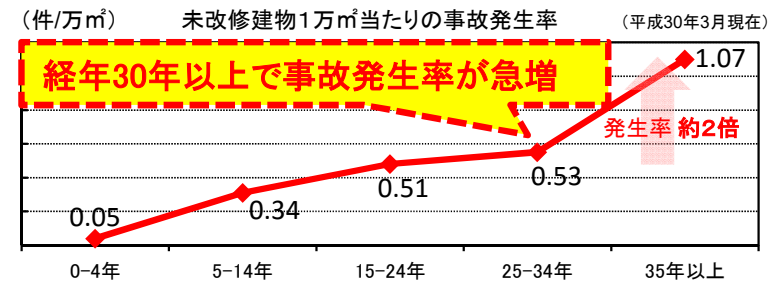
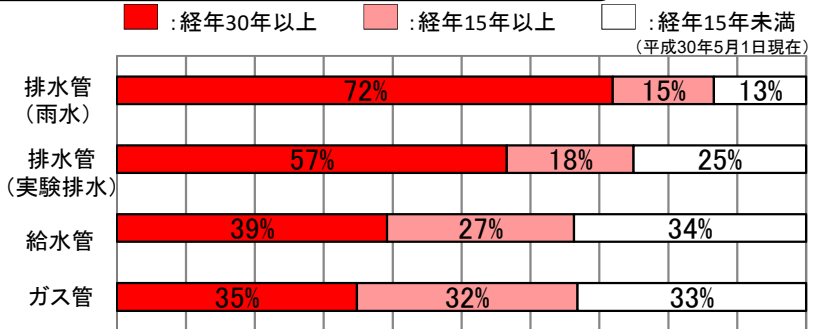
## 耐用年数を過ぎたライフライン



配管の腐食



配管の破損による水漏れ



### ① 安全面の課題 (事故の発生率の増加)

- ・ ガス配管や排水管等の腐食、外壁剥落、天井落下、空調停止などの事故発生

### ② 機能面の課題 (教育研究の進展や変化への対応が困難)

- ・ 電気容量、気密性不足等による施設機能の陳腐化、建物形状による用途変更の制約
- ・ イノベーションを導くオープンラボ、学修意欲を促進するラーニング・コモンズ等のスペースの確保が困難
- ・ 教育研究機能の低下による国際競争力、信頼性の低下

### ③ 経営面の課題 (基盤的経費を圧迫)

- ・ 老朽化した設備等による光熱水などのエネルギーロスや維持管理経費の増加
- ・ 頻繁に必要なとなる修繕への対応など、大学の財政負担が増加

3つの課題



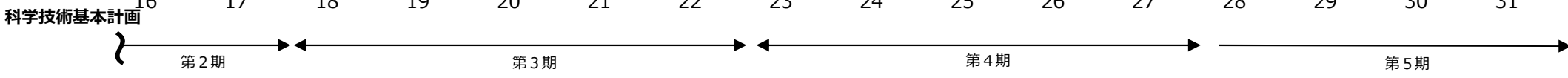
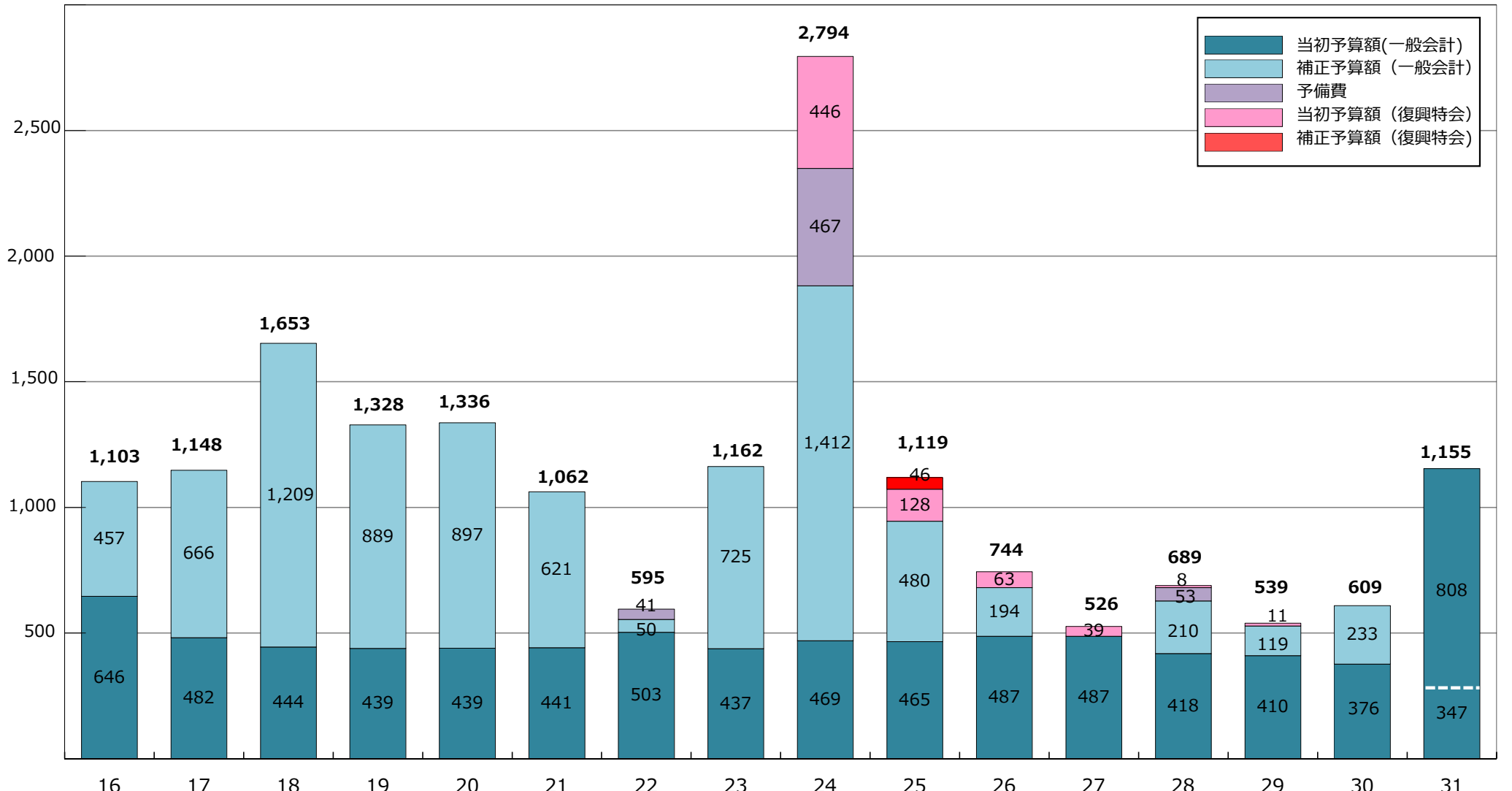
外壁の落下の危険



過密な研究室 (機能低下と事故)

# 国立大学法人等施設整備費予算額の推移

(単位：億円)



※四捨五入により合計は一致しない場合がある。  
 ※平成31年度予算のうち、808億円は防災・減災、国土強靱化関係予算（臨時・特別の措置）

# 国立大学等施設の整備

## ◆予算額（国立大学法人等施設整備費）

2019年度予算額 115,498百万円（前年度 37,615百万円）

【うち、防災・減災、国土強靱化関係予算（臨時・特別の措置）80,804百万円】

〔他に、財政融資資金 28,738百万円（前年度34,624百万円）〕

## ◆内 容

国立大学等の施設は、将来を担う人材の育成の場であるとともに、地方創生やイノベーション創出の重要な基盤であるが、著しい老朽化の進行により安全面・機能面等で大きな課題が生じている。

このため、「第4次国立大学法人等施設整備5か年計画」（2016年3月29日文部科学大臣決定）、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」（2018年12月14日閣議決定）を踏まえ、老朽施設の改善整備を中心とした、安全・安心な教育研究環境の整備や国立大学等の機能強化等への対応など、計画的・重点的な施設整備を推進する。

### ◆安全・安心な教育研究環境の整備

- ・施設の耐震化及び安全対策（非構造部材の耐震対策含む）
- ・基幹設備の更新等（機能劣化の著しいライフラインの改善）

### ◆国立大学等の機能強化等への対応

- ・高度化・多様化する教育研究活動への対応（先端的な研究施設の整備等を含む）
- ・附属病院の再開発整備（地域医療・先端医療等の拠点）

## ◆予定事業数

○新規事業 323事業

○継続事業等 83事業

※実施計画協議予定事業一覧は文部科学省HPにて公表。

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shisetu/kokuritu/yosan/1408472.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shisetu/kokuritu/yosan/1408472.htm)

文部科学省ホームページトップ > 教育 > 学校等の施設整備 > 国立大学法人等の施設整備 > 国立大学法人等施設整備関係予算 > 2019年度国立大学法人等施設整備関係予算 > 予算（案） > 2019年度国立大学法人等施設整備実施計画協議予定事業 < 当初予算 >

# 国立大学等施設整備費予算について (平成30年度第1次補正予算)

国立大学等施設整備関連

96億円

## ◆概要

大阪北部地震や平成30年7月豪雨などの自然災害により建物の損壊など多数の被害を受けた国立大学等施設の速やかな復旧を図る。また、地震発生時の学生等の安全確保のため、ブロック塀等の安全対策を実施する。

## ◆事業内容

### ○国立大学等施設の復旧 60億円

大阪北部地震や平成30年7月豪雨などの自然災害により建物の損壊など多数の被害を受けた国立大学等施設の速やかな復旧を図り、安全と教育研究活動の円滑な実施を確保する。

### ○ブロック塀の倒壊防止等の安全対策 36億円

地震発生時の学生等の安全確保のため、安全性に問題のあるブロック塀等の撤去・フェンス等の再設置などの安全対策を実施する。

# 国立大学等施設整備費予算について (2018年度第2次補正予算)

国立大学等施設整備関連

136億円

## ◆概要

国立大学等施設の耐震化等の安全対策を実施することによって安全・安心な教育研究基盤を確保する。

また、北海道胆振東部地震や平成30年台風第21号等の自然災害により建物の損壊など多数の被害を受けた国立大学等施設の速やかな復旧を図る。

## ◆事業内容

### ○防災・減災、国土強靱化のための緊急対策 108億円

国立大学等施設は、災害時に学生・教職員等の生命及び貴重な研究試料や研究設備等を守るとともに、避難所としての役割も果たすことから、大規模地震により倒壊、損壊の危険性がある施設の耐震化や非構造部材の耐震対策等の安全対策を実施することによって安全・安心な教育研究基盤を確保する。

### ○災害復旧 28億円

北海道胆振東部地震や平成30年台風第21号等の自然災害により建物の損壊など多数の被害を受けた国立大学等施設の速やかな復旧を図り、安全と教育研究活動の円滑な実施を確保する。